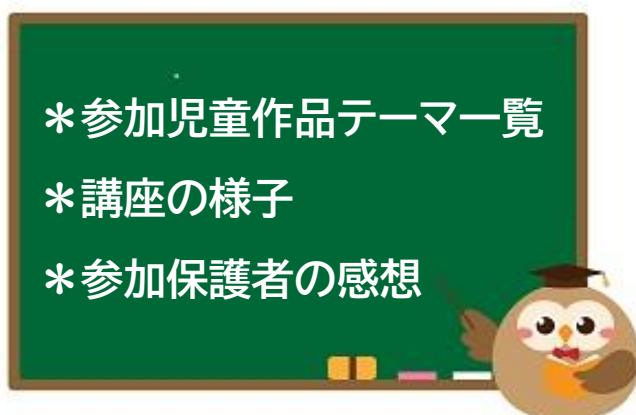


令和5年度 親子でチャレンジ調べ学習講座 より



こんなにたくさんのお友だちが 参加してくれました！

(出席者数)	親子(組)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	計
6/24(土)	3	1	1			1			3組3名
6/25(日)	6		2			3		1	6組6名
7/8(土)	5			1	3	2			5組6名
7/9(日)	5		1	2	1	1	1		5組6名
計	19	1	4	3	4	7	1	1	21

*申し込み数 のべ23件 27名 (2回申し込み 4組4名)

*欠席数 のべ6件 6名 (実数 4件4名 内1名は1回のみ参加)

実参加者数 17件 (保護者 18名・児童 19名 計 37名)

<参加者作品テーマ一覧> ※作品テーマは、本人表記の通り

- 小学校1年 上川はどのくらいのながさかな？
 2年 世界であまり使われていない楽器
 ヘラクスレスオオカブトはどこなところに住んでいるの？
 トマトになんでにがいゼリーがあるの？
 じしんじょうほうは どのようにでるの？
 3年 空のへん化を楽しもう！
 どうして雲から雨がふるの？
 諏訪湖はなぜできたか？
 4年 家紋ってどんなもの？～家紋のできかたは？～
 カミナリってなに？
 トマトはどうしたら甘くなるの？
 ほしがきの白い粉はどうやって出てくるの？
 5年 古墳のある場所には何か意味があるのか？
 大豆はなにをすれば返信できる？
 なぜ諏訪湖花火大会をしたのか？
 海水はなぜしょっぱいの？
 永明寺山にはなぜ古墳があるのか？
 なぜ諏訪湖花火大会をするようになったのか？
 どうして悪い夢を見るの？
 6年 足のおいはどうして人で違うの？
 中学校1年 諏訪大社にはどんな神様がいるのか

参加者の様子から

6月24日（土）

上川はどのくらいのながさかな？



自分なりに調べたいことをもって参加した3組の受講者。特に、小学1年生で参加した児童は「この前の大雨の時に、家の前の上川がすごい勢いで流れていて、あふれそうになっていて、この水はどこから来るんだろうと思った。だから、上川はどこから始まっているのか知りたい。」と、しっかりとしたエピソードをもって参加。

しかし、小学1年生が理解できる文献資料がなく、環境絵本『やつがけのちっち』にある挿絵から予想する。挿絵からも、上川は複数の河川が集まってきている様子がわかったが、図書館の資料

だけで源流を確定するのが難しく、テーマを『上川はどのくらいのながさかな？』として調べ、夏休みに「諏訪湖からだいたい30km くらいのところまで行ってみようかな。」と思いを馳せた。

6月25日（日）

諏訪大社にはどんな神様がいるのか

初めての中学生の参加者。

学校の授業で、地域見学での学びから、自分でテーマを決めて調べるという課題が出され、どう進めていったらいいか困って参加した生徒。

最初は「諏訪大社について」としていたが、「○○についてというのは、テーマとはいえない。何を知りたいか、疑問のことばにしよう。」と、お家の方の質問に答えながらドーナツチャートを埋めて、テーマを絞り込んだ。

神様に目を向けたことで、郷土資料だけでなく『諏訪の伝説』も読み込み、自分なりの予想を確かめていった。



ヘラクレスオオカブトは

どんなところにすんでいるのか？



カブトムシが好きすぎて、お家の方がヘラクレスオオカブトの幼虫をインターネットで購入し、育てているという。

最初は「飼い方を調べたい」と言っていたが、「そもそも日本にいない虫だけど、ほんとうはどんな所に住んでいるんだろう？ 育ちやすい環境が解れば、育て方も解るかもしれない。」と発想を変えて、生態や環境を調べることができた。

6月の講座に参加した保護者の感想より

- ・子どもの興味のある内容を「なぜ?どうして?」から新しい発見が生まれて、おもしろかったです。高学年の方の発表も聞いて、おもしろかったです。
- ・丁寧に指導して下さりありがとうございました。何度か参加していますが、テーマ絞りに毎回悩みます。アドバイスをいただくことで視野が広がり、大変ありがたかったです。また何かとお聞きすると思います。よろしくお願いします。
- ・テーマ決めや要点をまとめるのは、なかなか難しいですが、何人もの方がサポートしてくれて、とてもありがたかったです。もっと早くこの講座に出会っていたら良かったと思いました。
- ・今回は、子どもが疑問に思った“上川”について調べました。気になることを掘り下げることで、様々なテーマが出てきました。図書については、どう探したらよいかなど教えていただき、勉強になりました。途中、書くのに疲れてしまった際に励ましていただき、どうにか完成させることができました。引き続き調べていきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・子どもが知りたい、調べたいことをくみ取って導くのが、意外と難しいと思えました。調べる楽しさが少しでもわかるといいと思えます。
- ・今回は本を中心に調べることになったが、本が違えば書き方だけでなく、違う内容が書いてあることにおどろいた。一種類だけでなく、多角的、多数の情報を得ることを今後も気にしていきたい。
- ・諏訪に関係することをテーマにしたいと言って、諏訪湖と花火をテーマにしたが、資料が思うように探せず困っていた。スタッフの皆さんが新聞や雑誌も含めたたくさんの資料を探してくださって、本当にありがたかった。さすがプロだと！今年も参加できてよかったです。
- ・取り組みの仕方を解りやすく説明していただき、よく理解できました。子どものところをのぞき込むと「見ないで！」というので、任せていたら最後にダッシュとなってしまいました。応援センターの方々が声をかけたり助言して下さったりしたので助かりました。調べ学習の手法は、後々の論文の作成にも役立つ技法だと思うので。夏休みは、子どもと頑張りたいと思えます。

7月8日(土)

なぜ諏訪湖花火大会をするようになったのか



6月の講座に引き続き参加した5年生。

6月には「なぜ諏訪湖花火大会をしたのか」というテーマについて、「長野県の真ん中にある諏訪湖で、お客さんが集まりやすい」と予想をたてて、いつ始まったのかと調べた。昔の新聞記事から、終戦後まもない昭和24年、人々の気持ちを明るくしたいという願いもあって花火大会を計画したことを知り「するようになった」とテーマを切り込んで2回目の講座に臨んだ。

身近な花火師さんとのエピソードを書き、前回は資料探しに受け身であったが、今回は自ら郷土資料を探し、観光や地域発展に繋げようとしていることに気づいた。夏休みには知り合い

の花火師さんや、観光協会の方にもインタビューをしてまとめていくようであり、その結果が楽しみである。

永明寺山にはなぜ古墳があるのか

家族で出かけたときに、偶然古墳を見つけたことから、6月に「古墳がある場所には何か意味があるのか」と調べ始めた5年生。

なかなかわかりやすい資料がなく苦戦していたが、郷土資料を読んでいるときに「永明寺山古墳群」という文字に「？」となった。他にも市内に「古墳群」という表記があり「自分が見た古墳だけでなく、たくさんあったのではないか。」と疑問が深まっていく。夏休みには八ヶ岳総合博物館に聞き取り調査に行ったり、他の古墳でも現地調査をしたりして、さらに進めていくそうである。自分の住む地域の歴史を探る興味深い調べ学習が展開されることが期待される。



7月9日（日）

ほしがきの白い粉はどうやって出てくるの？



「干し柿の白い粉は、甘い印らしいけれど、自分で干し柿をつくったら白い粉ができなかった。」というエピソードから、干し柿の白い粉を調べ始めた4年生。

渋柿を干すことで甘くなるということや、どうしたらより甘くなるかということは、本を調べて見つけることができたけれど、白い粉について書いてあったのは、1冊だけ。

まだ残る白い粉についての疑問を、夏休みに生産者に聞きながらさらに調べていくそうである。そして、取材をもとに、自分でもう一度作ってみたいというので、今後への繋がりが楽しいテーマである。

7月の講座に参加した保護者の感想より ①

- ・初めて参加させていただきましたが、課題への取り組み方も実際に調べることで「調べ学習」とはどんなものか、よくわかりました。予想と違うことも分かる学習で、楽しかったです。
- ・一つのテーマを調べるのに、どんどん調べたいキーワードが出てきて、膨らんで調べることができたと思います。まだ解らないだろう、難しいだろうと勝手に決めつけてしまったり、何で？なんで？と聞かれても、何でだろうね～と適当に返事をしてしまったりの毎日なので、一緒に調べることができてよかったです。本と一緒に探していただいて、より知りたいことが書かれている本に出会えました。ありがとうございました。
- ・一つの疑問をいろいろな視点からヒントをいただいて、解決することができました。家だとなかなか集中してできないので、いろいろな視点から学ぶことができたので、参加することができてよかったです。ありがとうございました。

7月の講座に参加した保護者の感想より ②

- ・文字を書く作業が大変。本を見つけていただいて、助かります。まとめ方、次に何をしたらいいのかご指導いただけて、夏休みの宿題に役立ってます。
- ・今回は、お世話になりました。調べるまではどうにかなっても、まとめることが難しく、うまくいかないと思っていた中で、今回の講座は、ほんとうにありがたかったです。アドバイスいただけたら、心強かったです。本当にありがとうございました。
- ・調べ学習に挑戦するのは初めてでしたが、地震というキーワードから、知りたいテーマが思ったより、たくさん出てきました。どこまでできるか心配でしたが、最後まで本人の言葉でまとめることができよかったです。
- ・自力では調べられないくらい資料を探すのが難しいテーマにしてしまったけれど、たくさん本や新聞、他の図書館の情報も教えてもらえて、本当にありがたかった。今回は、まとめ方に焦点を当ててとのことだったので、今まで知らないことも学べてとても勉強になった。今後の展開のしかたも一緒に考えてアドバイスしてくれたので、見通しを立てることができた。ありがとうございました。
- ・調べ学習の進め方がわからなかったのですが、ポイントをわかりやすく説明していただき、短時間でまとめることができました。子どもとても楽しみにしていて、実際の作業もおもしろかったようです。家だとなかなかできませんが、今回参加して、やり方を教えていただき、とてもよかったです。発表の機会も与えていただき、ありがとうございました。
- ・前回（テーマ決め）の講座より、更に内容が深まりました。講座で教えてくださる先生方は、様々な角度からアドバイスをくださるので、親子共々勉強になり、次の学習へ進めそうです。子どもの知りたいという疑問が、もっともっと広がっていくといいなと思います。QRコードでの入力も、大変便利でした。学校のおたよりに調べ学習に参加した子たちの感想も載せると、参加してみようかなと思う子が増えると思いました。
- ・昨年、今年と参加させていただきました。調べていくうちに、また新たな「？」が出てきて、それも調べ学習の楽しいところだなと感じています。自分が疑問に思ったことを調べて、自分で解決していくことは、とても良い経験だと思います。娘も昨年の経験から、調べることは楽しいと感じたり、やり通したことが自信につながったりしているようです。これからも、娘の「なぜ？」について、親としても一緒に考えていけたらと思っています。ありがとうございました。

夏休みに入り、もう少し資料を探そうと図書館に来てくれた人もいました。

どんなことに気づいて、どんな疑問が生まれ、どんなことを感じるようになったのか、

皆さんの作品が楽しみです！

